

# 横山工業株式会社

業種	建設業	事業所所在地	新潟県阿賀野市	資本金	10,000千円
				従業員数	15名

	被承継者		
	小林 博昭	72歳	※承継時
	承継者（左）		
	小林 和也	46歳	※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係		
2016年8月	子ども		
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題		
一般土木業、竹籠の加工販売	・既存商品・サービスの売上高の拡大	承継を契機に、新規事業として地域伝統民芸品「竹籠」の製造販売に着手し、斬新なデザイン・異素材との組合せ・新分野への販売など活動してきた。その間生じた経営課題を解決し、事業を拡大させる目的で新たなブランドを立ち上げる。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
地域内の建設業関係会社が承継引継ぎをはじめ代表取締役である父親が70歳を契機に一線を退く事を考えた。	顧客、関係会社への周知スケジュールについて話し合いました。また、総務担当者から経営経営に対してレクチャーしていただきました。	会社経営、銀行、取引先との関係が維持できるか。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	メインバンクの銀行員、担当経理士と話し合いました。	雇用体制の維持。設備投資にかかる資金繰り。

**これに一番苦労した！**

承継者は10年間、専務取締役として会社運営に対して大体の日常管理はやってきたのですが、経営経理に対して総務担当者に任せきりだったので、経営経理、資金繰りについての勉強が必要でした。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
税理士・税理士法人	経営計画策定、金融機関との調整、税務面の指導、承継時の手続きのタイミング等。
いつから相談？	
承継実行の 3年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

### 新たな収益事業に見据えた竹籠製造販売事業の新ブランド化

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
---------------	-------------

- 主に土木建設業として、設立当初から下水道公共事業の受注を経営の中心としてきたが、近年は公共事業の減少に伴い年々売上が減少している。現在の国の動向を注視すると、将来的な公共事業の減少は当社の大きな不安要素といえる。
- 将来の収益となりうる事業を模索している中、代表者の親戚関係である小林ミドリ氏が死去したこと、かつ、事業承継の準備をしてきたことから、地域の宝を絶やさぬように当社業務の一部として「小林ミドリ竹籠」の製造販売に着手した。新規事業の第一歩を踏み出し、これから売上が拡大されるというタイミングで、原材料の調達が困難となり、商品素材の再構成・ブランドの再構築・プロモーション戦略の見直しを迫られたため、新ブランド創出とブランド価値の見える化に取り組むこととした。
- 新ブランド創出とブランド価値の見える化は、従来ブランド「小林ミドリ竹籠」が今まで築き上げてきたブランド価値を活用しながら取り組むものであるため、実現すれば顧客にとっては商品選択の幅（2つのブランド）が広がり、購入する判断材料（動画情報）と環境（Web決済）が得られる。一方で、生産者側にとっては既存ブランド「小林ミドリ竹籠」で使用する「鈴竹」の仕入れが困難な時期を新ブランドで補完でき、事業基盤を安定させることができる。数年後には、2ブランド戦略により既に足がかりのある「フランス」をはじめ海外市場に本格参入するとともに、インバウンド需要の取込みも目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳			
建設業として公共事業で地元の山である五頭山の治山維持業務を委託している経緯があり、竹を山に採りに行く際、五頭山の生態系維持と竹籠の材料確保を同時に行っている。また、伝統民芸品である竹籠を発信することで、地域の宝と成りうる事業だと確信している。	<table border="1"> <tr> <th>経費の主な使い道</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外注費</li> <li>■ 委託費</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>                     外注費（竹籠ブランディング費、ムービー製作費、パンフレットデザイン費、ホームページデザイン費）                      委託費（竹籠ブランディング業務委託費）                 </td> </tr> </table>	経費の主な使い道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外注費</li> <li>■ 委託費</li> </ul>	外注費（竹籠ブランディング費、ムービー製作費、パンフレットデザイン費、ホームページデザイン費） 委託費（竹籠ブランディング業務委託費）
経費の主な使い道				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外注費</li> <li>■ 委託費</li> </ul>				
外注費（竹籠ブランディング費、ムービー製作費、パンフレットデザイン費、ホームページデザイン費） 委託費（竹籠ブランディング業務委託費）				

**認定経営革新等支援機関の名称：株式会社北越銀行 水原支店**

**認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容**

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
---	---	---	---

補助事業の進捗状況に応じて的確にご教授いただきました。

### 今後に向けて～次の目標

2019年から2022年に向けて	会社全体からみた竹籠事業の売上が少ないため目標数値が売上高10%になりましたが、竹籠事業単体でみると200%になる予定です。本補助申請で企画した6年間スケジュールに沿って、いずれは体験型イベントを実施し地元観光の一助になれるように、竹籠事業の持続的発展を推進します。また、建設業においては人口減によって雇用の確保が難しいですが、当社平均年齢46歳で業種的に若い人材がいますので、14年～19年は労働生産力は確保できていると考えています。人材不足を起因とした人件費の高騰がすでに生じ始めている中、10年後ビジョンの策定から人材投資と会社設備投資で継続していきたい。
売上高	10 %UP

### これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
「明日やろうは馬鹿野郎」だと思って、必死にやれとのことでした。	経営上、厳しい時代ではありますが、問題には活路は必ずあると考え取り組みます。そして、従業員の物心ともに幸せの実現と社会奉仕の精神で、次代に繋ぐ事業展開をしていければと考えます。